

おうみはちまん 議会だより

2026
(令和8年)

第67号

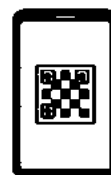
5月1日発行



【令和8年1月24日 議会カフェ】

今号の主な内容

- 2～3 ◆特集 ぎかいカフェ（議会報告会）を開催しました
- 4 ◆3月定例会の概要
- 5～12 ◆個人質問
- 13～17 ◆委員会審査報告・活動報告
- 17～18 ◆高齢者叙勲・傍聴案内等・編集後記
- 19～20 ◆提出議案と議決結果一覧・お知らせ



二次元バーコード（個人質問ページ）で本会議での質問の様子をご覧くださいだけです

報告会)を開催しました



「表紙デザイン」
「紙面のわかりやすさ」
「個人質問の見やすさ」
の3つのテーマで
近江八幡市を含む5つの
市の議会だよりを比較して
シールアンケートを
実施しました



令和7年度議会報告会「ぎかいカフェ」を開催いたしました。

今回は定員60名のところ、満席となる多くの市民の皆さまにご参加いただき、心より感謝申し上げます。

オープニングでは、八幡西中学校吹奏楽部の皆さんが、勉強や学校行事の合間を縫って一生懸命練習してくださり、素晴らしい演奏で会に花を添えてくださいました。

時間に限りがあり、市民の皆さまのお声を十分にお聞きするには短い時間となりましたが、「来てよかった」「楽しかった」「こんな機会は初めて」「身近に議会を知ることができてよかった」といった温かいご感想を多くいただきました。

今年度は、新庁舎のお披露目を兼ねた庁舎ツアーに加え、お茶を飲みながら参加できるシールアンケートコーナー、またトークミーティングでは、実際に議場の議員席に座り、「住みたい街ランキングアップ大作戦」と題して話し合い、賛成・反対のボタンを押す議場体験を行いました。

このように市民の皆さんと顔を合わせ、率直に思いを交わせる機会は、これまで決して多くはなく、今回の開催は大きな一歩であったと感じています。今後も、より開かれた議会、市民に身近な議会を目指し、議員一同努力を重ねてまいります。なお、皆様にごいただいたご意見は、今後の議会活動に活かしてまいります。

(広報広聴委員会 副委員長 山本 妙子)

特集 ぎかいカフェ（議会）

開かれた議会を目指し、1月24日、新しく供用開始となった新市庁舎でぎかいカフェ（議会報告会）を開催しました。

オープニングイベントでは、議場で八幡西中学校の吹奏楽部の皆さまに演奏をしていただき、今年度のぎかいカフェは素敵な音色からのスタートとなりました。新庁舎ツアー、議場でのタウンミーティング、シールアンケートを実施し、新しい庁舎ならではのぎかいカフェが開催できました。



議場では、オープニングイベントとして八幡西中学校の吹奏楽部による演奏とタウンミーティングを実施しました



近江八幡市ぎかいカフェ2025

ドキドキ 新庁舎 ツアー

1/24 (土) 13:00-15:30

cafe menu

- 八幡西中学校吹奏楽部
- ドキドキ新庁舎見学
- タウンミーティング
- ほっこりカフェ
- 議会報告会
- and more...

定員60名 お申し込みはこちら

近江八幡市議会事務局
TEL 0748-36-5528 FAX 0748-36-7101
または 0202000ic@ty.on/hachiman.jp

申し込み1月15日まで！
お早め！！

3月定例会の概要

開会

2月16日

- ・会期の決定（2月16日～3月17日）
- ・諸般の報告（議長報告、監査報告、市長報告）
- ・議案の上程（議案42件（予算議案22件、条例議案17件、その他議案3件））

個人質問等

2月26日

- ・大川恒彦議員、南祐輔議員、間宮泰樹議員、沖茂樹議員、森原陽子議員
- ・追加議案の上程（議案3件（予算議案1件、条例議案2件）、）

3月2日

- ・懲罰動議について
- ・中塚理恵議員、道下直樹議員、青木勝治議員、小西はげむ議員、辻正隆議員、松村務議員

3月3日

- ・玉木弘子議員、岡田彦士議員、三上英夫議員、山本妙子議員、竹尾耕児議員
- ・委員会付託

常任委員会等

3月4、5、6、9、10日 予算常任委員会

3月10日 総務常任委員会

3月11日 教育厚生常任委員会

3月13日 産業建設常任委員会

3月2、6、12日 懲罰特別委員会

- ・各常任委員会で議案について審査、討論及び採決、懲罰特別委員会で動議について審査

閉会

3月17日

- ・森原陽子議員に対する懲罰の件
- ・各委員会報告
- ・討論、採決
- ・追加議案の上程（議案26件（人事議案26件））
- ・採決

個人質問



創政会

無医地区における 行政の考え方について

大川 恒彦



問 医療受診向上の観点から質問します。

①学区内には地域住民の健康を考えるための医療機関が存在する事が一般的ですが、無医地区における取組や対応はどのように考えていますか。

②高齢化が進むにつれ、医療サービスの需要が高まりますが、医療提供体制を確立、確保するためにどのような対策を講じていますか。

③地域医療の充実化を図るため、地域医療連携を強固にしている必要性がありますが、そのためには何が不可欠で、何が課題なのか伺います。

答 ①②子ども健康部長

③総合医療センター事業管理者

①学区内に医療機関がない地区はありますが、国が示す「容易に医療機関を利用することができない地区」には該当しないため、診療所や医師の巡

回をする施策等は考えておりません。

②地域医療の充実を図るために、健康診断に基づく保健指導と、取組を社会情勢の変化に合わせて、より一層の医療と介護の連携を図り、推進してまいります。

③地域医療連携を強固にするためには、地域内の各医療機関を訪問し良好な関係づくりと日頃からの情報共有が大切です。課題としては、身近な診療所が閉院となり受診できなくなることを考えております。



「その他の質疑・質問」

①フック物洗口の取り組みについて
②管理不全不動産に対する措置について

個人質問



創政会

交通税について

南 祐輔



問 滋賀県では昨年末に「滋賀県地域交通計画（素案）」が作成され、財源として交通税の導入も検討されています。この素案

に対するパブリックコメントでは否定的な意見が多く見られ、また県議会においても、交通税の導入に半数近くの議員が反対の意思を表明しています。そこでお聞きします。昨年6月に交通税について質問した時から現在までの間に、滋賀県の地域交通についての、各交通事業者や各市町の行政からはどのような意見が寄せられていますか。

答 市民部長

滋賀県では、昨年12月末に滋賀地域交通計画の「素案」を公表、パブリックコメントを行い、県民、自治体、交通事業者から合計419件の意見が寄せられました。意見には公共交通の維持・充実への期待の声がある一方で、新たな税「交通税」の検討については、「不公平感」や「負担増」

に対する懸念や反対意見もあつたとのことです。また各自治体からは、地域の実態に合わせたそれぞれの交通計画としっかり整合すること、既に整備・構築している公共交通体制を維持・向上していく必要があるとの意見が共通して出されております。



「その他の質疑・質問」

①本市の防災対策について

個人質問



創政会

間宮 泰樹

西の湖の水質改善について



問 西の湖は、ラムサール条約湿地にも登録されるなど本市の貴重な自然遺産であり、観光・農業・生態系の面でも極めて重要な存在でもあります。

ヨシ群落の保全や農業排水対策などの環境啓発活動や水質改善に係る事業など県・市と共に進められてきましたが、これまでの取組について伺います。

- ① これまでの取組の評価について
- ② 構造的課題への対応について
- ③ 他の自治体の先進事例の活用について

答 市民部長

リンの底質からの溶出抑制として、湖底耕耘やウルトラファインバブルによる実証実験を行った結果、底質の一部の分析られたと県からは報告を受けておりますが、本市といたしましては、大きな効果が得られていないのが現状であると認識して



おります。

そのため、本市でも、令和7年から、西の湖や西の湖に流入・流出している河川を対象に、流入・流出水の流量や水質を調査しており、次年度も調査を継続し、改善策を見出し、その結果をもとに、県にも提言してまいりますと考えております。

県において、令和4年度から環境省との連携のもと、効果的であると思われる施策を実施されており、そのなかで他府県の事例も参考にしながら検討を進められています。

個人質問



政翔会

沖 茂樹

地域計画のその後と農業支援について



問 将来の農地利用の姿を明確にする「地域計画」については、対象となる全ての集落で策定されたと伺いました。しかし、「地域計画」は策定したら終わりではなく、担い手の状況変化などを捉え、実態に即して継続的に見直しを行い、実効性を高めていくことが何よりも重要であると考えます。

そこで、本市では「地域計画」の見直しなどを行っておられるのかお尋ねします。併せて、現時点での担い手への農地の集積状況について教えてください。

答 産業経済部長

地域計画については、令和7年3月末時点で83の計画を策定しており、PDC Aサイクルを通じて進捗状況を確認し、実態に即した計画となるよう随時見直しを実施しています。今年度は、5つの計画について見直しを行い、さらに21の計画についても、近江八幡市地域計画推進

協議会において協議を行い、変更手続きを進めています。

担い手への農地の集積状況については、令和7年3月末時点で本市の担い手への農地の集積率は79・6%であり、全国平均の61・5%、滋賀県平均の69・1%を上回る水準となっております。



「その他の質疑・質問」
① 道路交通法の改正について

個人質問



日本共産党

森原陽子

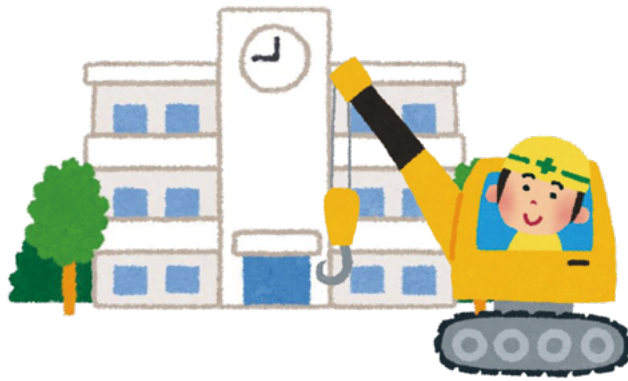
市の財政と公共施設、及びその維持管理について



問 日本共産党は、「浸水地域であり軟弱地盤である整備地は、避難所にもなる安土コミュニティエリアとして適していない。造成すれば事業費の大幅増額のリスクがある」と訴えてきました。その整備事業は、当初の3倍近い112億円となり、歳出の大幅増額を招いています。

答 令和8年度に「近江八幡市学校施設の長寿命化計画」の更新を行う予定をしています。上位計画の「近江八幡市公共施設等総合管理計画」との整合を図るとともに、改修の手法や工期の設定、高騰が続く建設物価や人件費の状況、改修後のライフサイクルコスト等も鑑みながら、各校の建物の劣化状況及び教育

環境の必要性を総合的に勘案し、たうえ、計画を見直し示していきます。



「その他の質疑・質問」

- ① 産業振興と補助金制度について
- ② 待機児童の解消について
- ③ 障がい者事業所、高齢者事業所の現状と支援について
- ④ 学校給食費の無償化と隠れ教育費について

個人質問



公明党

中塚理恵

RSウイルス予防接種の定期接種化に向けた市の対応について

問 RSウイルス感染症は風邪に似た症状ですが、乳児では肺炎や細気管支炎を起こし重症化することがあります。特効薬はなく予防が重要で、妊婦への母子免疫ワクチンが令和8年4月から定期接種化の方向です。また、妊婦がワクチンを受けられなかった場合に、赤ちゃんに直接抗体を投与する「抗体製剤」という方法もあります。本市の、定期接種に向けた準備状況、対象者数と費用、抗体製剤への対応について伺います。

答 子ども健康部長

毎年1月から2月に、各医療機関に次年度の予防事業への協力や実施される予防接種の種類等を確認しています。次年度に予防接種の実施協力いただける医療機関に、3月中旬ごろに予防接種の関係書類を送付しております。その準備を行っているところですが、母子手帳交付時や市広報・

ホームページ等での情報提供、必要に応じ個別通知等による周知を図ってまいります。対象者は、年間600人程度、費用は、当初予算額で約1,755万円を見込んでいます。抗体製剤への対応については、国で定期接種化に係る議論が開始されるとい



「その他の質疑・質問」

- ① 認知症予防と軽認知障害（MCI）への早期対応について
- ② 帯状疱疹予防接種定期接種について

個人質問



創政会

子どもまんなか社会

実現に向けて

道下直樹



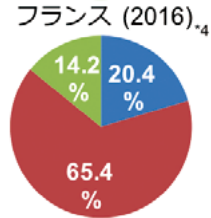
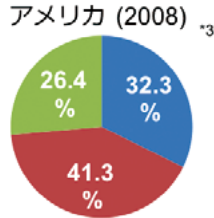
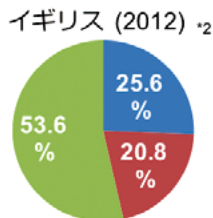
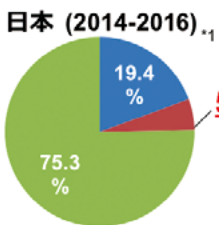
問 医療センターについて先日総務常任委員会で所管事務調査を行い、NICUやGCUも見学させていただきました。この地域の周産期母子医療センターとして尽力していただき本当にありがとうございます。以前に質問いたしました無痛分娩の確立について、現状と今後の展望について伺います。

答 総合医療センター院長

無痛分娩を行うには、麻酔科医が硬膜外麻酔を手術室で行う必要がありますが、麻酔科医の不足に加えて、手術件数が高水準で推移しており、現状は無痛分娩の実施は困難な状況です。しかしながら、無痛分娩のニーズは年々増加しておりますことから、今後においては実施に向け検討する必要があると考えております。

帝王切開と無痛分娩の実施率

■帝王切開 ■無痛分娩 ■(無痛を除く)経膈分娩



個人質問



育政会

子ども子育て支援について

青木勝治



問 保育所等の4月入所見込みは、待機児童解消に至るのか、現時点の見込みと保育士確保状況を伺います。

また、国の新制度の「子ども誰でも通園制度」の目的は子育て家庭の孤立防止、育児不安軽減、0〜2歳児の発達支援です。月10時間を標準とし、継続的な関わりを重視していますが、本市は1か所のみで、1日5名定員、月上限3時間等と限定的です。ニーズ調査の実施や、他市より低い設定による問題認識、保育所以外での実施について伺います。

答 子ども健康部長

申込児童数が前年度に比べ、40名程度増加する見込みであり、待機児童を完全に解消することは厳しい状況です。

保育士確保については、公立園、私立園ともに不足しているところ です。

「子ども誰でも通園制度」に関

して、ニーズ調査は行っていません。他市と比較して十分でないことは認識していますが、待機児童を抱えている本市の状況において、できる限りでの実施としました。保育所以外での実施については、人員やスペースに課題があり難しいと判断しました。

子ども誰でも通園制度



「その他の質疑・質問」

- ① 令和8年度当初予算に伴う今後の行財政運営等について
- ② 地域格差拡大への対応について
- ③ 市立総合医療センターの赤字について

個人質問



創政会

小西はげむ

小西市長に問うについて



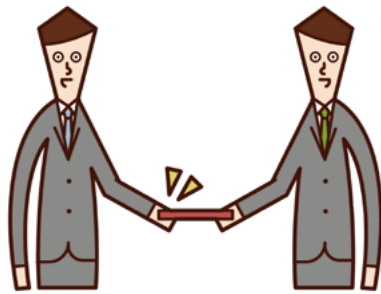
問 小西理市長は、2018年4月の初当選時、旧近江八幡市と旧安土町の合併（2010年）以降の市政の方向性や公共施設の維持・更新と言った財政課題に対し、新しい視点での行政経営を掲げられていたと思います。そこで、次の4点について伺います。

- ① 財政面の取組について
- ② 市政の特色について
- ③ 主な成果について
- ④ 今後の市政運営について次期市長に託したい事など

答 市長

財政運営としては、市の価値を上げて人や企業を呼び込み税収基盤を作る、独自財源となるふるさと納税に尽力する、支出の無駄をなくす改善を続ける、市内事業者の活性化を図るといふ4点を基本に進めてまいりました。「小さな庁舎大きな福祉」を掲げ、市民が主役のまちづくりを

特色として取り組んだ結果、暮らしやすく子育てがしやすい、明るくクリーンなまちになったという声をいただけていることが成果だと考えています。この成果は現代に共通な目指すべき姿だと思えます。新たな市長には、市民が笑顔になる楽しく愉快な明るいまちにしてください。



「その他の質疑・質問」

- ① 公用スマートフォン活用で業務の効率化について
- ② 障害（児）者日常生活用具給付事業について
- ③ 公共施設及び義務教育施設における国旗・国歌の取扱いについて

個人質問



政翔会

辻 正隆

道路インフラ整備の進捗と今後のまちづくりについて



問 中部湖東幹線、県道2号線安土バイパス、国道8号について①整備状況②未整備区間や事業化の見通し③県・国との連携を確認します。あわせて、渋滞緩和や物流効率化、企業誘致、観光振興、防災力向上などへの波及効果を踏まえ、総合計画と連動した地域活性化戦略及び今後の重点的な取組方針について伺います。

答 都市整備部長

中部湖東幹線（野村工区）、県道2号線安土バイパスの整備状況は、道路予備設計を実施中です。国道8号近江八幡・野洲間は、調査段階で整備方針が決まっていない状況です。中部湖東幹線、安土バイパスは、県と連携しながら進めており、国道8号は、期成同盟会を通じて、一体的で切れ目のない早期整備を国に強く要望しているところです。

総合計画と連動した地域活性化戦略は、上位・関連計画にお

ける考え方を踏まえた道路整備を計画し、道路整備の基本方針の実現に向けた整備を推進していくことが、地域活性化につながるものと考えます。今後の重点的な取組方針は、本市の道路整備の基本理念及び基本方針に応じた道路網や道路空間の形成に向けた整備を推進し、整備にあたっては財政状況等を踏まえ優先度に応じて必要な路線を整備してまいります。



「その他の質疑・質問」

- ① 持続可能な地域経済を支える産業政策の実効性向上について
- ② 豪雨災害の激甚化を踏まえた砂防・治山対策の現状と課題について

個人質問



育政会

八幡西中長寿命化

改修事業について

松村 務



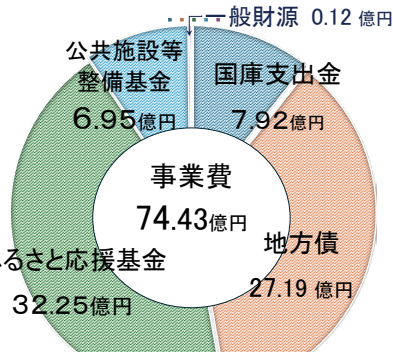
問 西中の長寿命化工事に、5年間で74億円の費用をかけて改修する予算が計上されました。技術士、建築士の視点で見ると、新築ができる費用をかけて改修するのは、経済合理性に欠けます。設計段階でコスト削減の検討は十分されたのか、整備計画や財政見通しが更新されないまま、巨額予算を先行させるのは順序が逆です。見通しある全体計画を示し、財政的持続性を確認した上で予算化すべきであり、市民に納得できる説明をしてください。

答 教育部長

低いグレードの複層ガラスの採用などコストの重視の視点で設計を進めました。また、「部分的な補修」と「全体的な改修」の組み合わせや工法の組み合わせを含め、今後30年以上使用できる建物への改修を目指しています。

令和8年度に「近江八幡市学

校施設の長寿命化計画」の更新を行う予定です。上位計画の「近江八幡市公共施設等総合管理計画」との整合を図り、改修の手法や工期の設定、建設物価や人件費などの状況も鑑みながら、各校におけます建物の劣化状況や教育環境の必要性を総合的に勘案し計画を見直したいと考えています。



西中長寿命化工事の財源内訳

(教育委員会資料より)

「その他の質疑・質問」

①地域の宝を輝かせるための小西市長の思いを聞く

個人質問



日本共産党

安土コミュニティエリア

整備事業について

玉木弘子



問 整備地は、軟弱地盤、浸水想定区域で、土地の条件が悪く適地でないことや、事業費が膨らむことなどを議会で質してきました。事業費は、令和5年は71・4億円でしたが、昨年11月には112・2億円と40・8億円も大幅に増額しました。次の3点についてお伺いします。

- ①事業費が40・8億円も増加した理由
- ②液状化対策を追加された理由及び対策
- ③整備地は最大震度6弱ですが、南海トラフ地震が発生した場合、どのような影響を受けるか

答 都市整備部長

①71・4億円は、建築の詳細設計を行う前であり、あくまでも概算事業費であることをこれまで説明してきました。112・2億円は、昨今の建築資材等の上昇による影響も加味し詳細設計額を反映したものと

です。

②地盤液状化指数では、全体的に液状化の危険性が「極めて低い」～「低い」と判定しているが、当エリアは、避難所としての機能を有する必要があるので、災害時の活動拠点となる建物周辺や駐車場等の地下に砂杭を圧入し、支持力を高める対策を実施します。

③安土学区の地区防災拠点として地盤の嵩上げ等、防災・減災を考慮した整備計画としています。



【安土川から整備地方向】

「その他の質疑・質問」

①旧安土町四地域の合併浄化槽は三者契約の継続を

②県の上下水道 料金改定と本市への影響について

③老蘇小学校施設整備事業について

個人質問



創政会

図書館・学校図書館と地域連携協働による読書まちづくり推進事業について

岡田彦士



問 昨今、高校生や大人の読書離れが進んでいます。

地域に根ざした読書環境の醸成が急務であり、公立図書館・学校図書館と地域連携協働による読書まちづくりの取組が必要です。本市では、読書活動の関心を高めるため「協議会」を設置していますが、どのような協議会ですか。また、スマートフォン普及により電子書籍が身近となり、紙ベースの読書をする子どもが減っていませんか伺います。併せて子どもの不読率についても伺います。

答 教育長

本市では、子ども読書に関わる「子ども読書推進委員会」、大人をはじめとする市民の読書活動に対して、「近江八幡市立図書館協議会」を設置し、読書活動推進に向けた協議をしていただいでいます。また、朝読書やビブリオバトル、POPコンクール等、読書活動の活性化に向け

た取組を通じ、小中学生の読書機会が生活の中に定着するよう取り組んでいます。令和7年6月実施のアンケート結果では、市内の子どもの不読率は、小学校6.6%、中学校3%となっており、国と比べて大幅に低い結果となっています。



「その他の質疑・質問」

- ① 防犯対策について
- ② 特殊詐欺について
- ③ 文字・活字文化資源の活用推進事業について

個人質問



創政会

小・中学校における主権者教育の取組について

三上英夫



問 平成27年の公職選挙法改正や平成30年の民法改正により、選挙権年齢や成年年齢が満18歳に引き下げられました。このような社会の変化に伴い、小・中学校の段階から子どもたちに主権者として必要な資質・能力を身に付けていくことがこれまで以上に求められています。

そこで、現在小・中学校で取り組まれている主権者教育の具体的な実践事例（学年・教科等・内容）及び子どもたちの変容や課題について伺います。

答 教育長

小学校では、3年生で福祉施設の見学、4年生で地域調査活動を行い、6年生で福祉施設関係者による講話等から学ぶなど、総合的な学習の時間に系統的な学習をしている学校があります。中学校では、特別活動の中で、学級生活の課題について話し合い、多様な意見を尊重しながら合意形成を図る経験を積み上げ、

生徒会活動を通して、学校運営に参画しようとする態度の育成につなげています。自分と社会との関わりを実感できる学習や経験を積み重ねていけるようにしていくことが求められるものと考えています。



「その他の質疑・質問」

- ① 不登校児童生徒に係る支援について
- ② 令和8年度新規事業「地域クラブ活動推進事業」について
- ③ 国道477号における通学路の確保等について

個人質問



公明党

人口構造の変化と学校施設 の持続可能性について

山本 妙子



問 人口減少により少子高齢化が進む中、学校施設の老朽化と将来の更新費用が大きな課題となつていきます。

教育の質を確保しながら持続可能な学校配置をどのように考えるのか、市の将来像をお示しください。

併せて、小中一貫校（義務教育学校）の可能性や、学校を地域コミュニティの核として防災・子育て・福祉など多機能に活用する視点、全庁横断的な連携による検討の必要性について、市の見解をお伺いします。

答 教育長・危機管理監

少子化の進行や学校施設の老朽化が進む中、教育の質を維持しつつ持続可能な教育環境を確保することが重要です。小中学校のあり方は、令和8年度策定予定の第3期教育振興基本計画に検討プロセスを位置づけ、学校施設の長寿命化計画は人口動向や老朽状況を踏まえ更新しま



す。義務教育学校の可能性は、先行事例やメリット・デメリットを踏まえ研究を深めます。また、学校を含むコミュニティエリアは地域防災の拠点だけでなく、子どもの育成や地域活動、学区まちづくりの中心拠点施設だと考えており、体育館の空調整備も関係課が連携して進めています。

個人質問



チームはちまん

3月の予算編成について

竹尾 耕児



問 市長選を控え来年度予算は骨格予算としての編成になりました。計画を一時取りやめた事業がある一方、新規事業を含め継続路線で予算編成されている事業もあります。こうした判断の基準は何かという点、現在取りやめになっていく事業の前提となつた課題は払拭されたのか、市長選の結果いかに関わらず進めるべき事業もあるのではないかなどお尋ねしたいと思っております。まずは初問として予算編成にあたり取りやめた事業についての説明を求めます。

答 総務部長

令和8年度当初予算は、4月の市長選挙を控え、市長公約等に係る新たな政策的経費を除いた「骨格予算」として位置付けておりますが、市政を停滞させず、最大限、市民への行政サービスの提供に対応した予算としております。

している安土小学校、八幡中学校等の学校施設の整備は、財源確保しており、特に遅らせる理由がないため予算に計上しております。

一方で、市民広場整備事業、地域活性化公衆浴場整備事業、勤労者福祉センター施設改修事業、子ども・若者育成支援施設整備事業については、4月の市長選挙を踏まえて、新たな体制で方向性を含め検討するため、令和8年度当初予算では編成しないことといたしました。



懲罰特別委員会の審査概要

令和8年（第1回）3月定例会2月26日の個人質問時の森原陽子議員による市長への発言に対し、懲罰動議が提出されましたので、懲罰特別委員会を3月2日、6日及び12日の計3回開催しました。

委員会は、この発言が、地方自治法第132条（言論の品位）及び近江八幡市議会会議規則第151条（品位の尊重）に定める規定に抵触するか否かを慎重に審査をしました。

審査に当たっては、本動議提出者3名からの説明聴取及びそれに対する質疑、また当該議員からの一身上の弁明を許可した上で、発言が議場の品位を損なったか、また、発言が客観的に無礼な言葉に該当するか否かについて委員間討議を行いました。

その結果、指摘のあった発言は政策的評価、批判の範疇に留まるものであり、懲罰事

由には該当しないとの判断に至り、「懲罰を科さない」ことに決定しました。

3月17日の本会議にて懲罰特別委員長から審査報告を行い、賛成多数により森原陽子議員に懲罰を科さないことが可決されました。

「懲罰特別委員会」

委員長 小西はげむ

副委員長 久郷定彦

委員 青木勝治、三上英夫、

山本妙子、南祐輔、

玉木弘子、竹尾耕児



予算常任委員会審査報告

「新年度予算を可決」

議第12号 令和8年度近江八幡市一般会計予算

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ522億円となります。この予算は、「骨格予算」であり、市長選挙後の市長公約等に係る政策的経費は、6月定例会において「肉付け予算」として編成されます。

市政運営の基本方針や重点的取組施策は昨年度と変わらず継続されています。

① 総合政策部

自治コミュニティ活動支援事業（約1億6千3百万円）

事業内容 自治会等が主体となつて実施するコミュニティ活動に対し補助金等の支援を行い、地域コミュニティの活性化を図る等

【主な質疑】

質 がんばる自治コミュニティ補助金について、令和7年度から新規となつている樹木の伐採や自治会活性化に対する補助金の要望は多数あったのか。

答 令和7年度の自治コミュニティ広場整備事業へ

は22件の申請があり、想定より多い申請となり、継続実施の予定である。また、自治会活性化推進事業補助金は80自治会の申請を見込んでいる。

② 市長直轄組織
消防・防災施設整備事業（約1億3千3百万円）

事業内容 避難所における良好な生活環境を確保するため、避難施設への空調設備の整備を推進し、防災力の強化に努める

【主な質疑】

質 災害時拠点強靱化緊急促進事業補助金について、事業内容と他の事業者からの申出はなかったのか。また、事業の情報提供は行わないのか。

答 災害時の帰宅困難者を受け入れるための設備等の整備に対して補助を行う事業であり、今回初めての提案があった。今後は事業の情報提供も行っていきたい。

※審査の結果、委員会に付託された全ての議案は可決しました。

総務常任委員会審査報告

「令和8年度病院事業会計予算について」

議第22号 令和8年度近江八幡市病院事業会計予算について

令和8年度の総合医療センターにおける病院事業会計予算について提案されたものです。

執行部からは「令和8年度の病院事業会計予算については、収益的収入及び支出における収支の差引はマイナス18億1千万円となる。その主な要因としては、人件費や物価の上昇に伴う給与費や高額薬品等の材料費の増加等であるが、経費については経営改善の取組を進め、前年度比1.9%増までに抑制している」との説明がありました。

【主な質疑】

質 令和8年度当初予算は赤字の見込みということか。
答 赤字予算で計上している。

質 今後の経営改善の見通しについてはどうか。

答 令和8年6月から実施の診療報酬改定により、急性期病院への診療報酬が手厚くなることを期待している。

る。しかし、今後4年から5年先は日本の医療構造の変革がないとこのような状態から脱出することは困難である。現時点では赤字予算の計上をせざるを得ない。

【主な意見等】

「総合医療センターの会計については、引き続き厳しい予算編成となっている。経営改善への努力は認められるものの、制度上の環境は依然として厳しいため、今後も取組を推進されたい。例えば、委託事業等については市直営にした場合との人件費との比較検討を行うなど、さらなる効率化を求め、「東近江医療圏の中核病院として、県に対しても対応の支援を求める必要がある」などの意見がありました。

※審査の結果、委員会に付託された全ての議案は全会一致で可決しました。



教育厚生常任委員会審査報告

「こども誰でも通園制度の開始」

議第23号 近江八幡市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

議第24号 近江八幡市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

議第25号 近江八幡市子ども・子育て支援法施行規則の一部を改正する内閣府令附則第2条第1項の経過措置を定める条例の制定について

令和8年4月から始まる「こども誰でも通園制度」の設備及び運営に関する基準を定めるため、また、実施時間の経過措置を定めるため提案されたものです。

「こども誰でも通園制度」は、0歳6か月から満3歳未満までの未就園児を対象に、月に一定時間、就労要件を問わず時間単位で柔軟に保育施設を利用できる制度です。9時から12時の間で1時間当たり300円、月3時間まで利用することができます。

【主な質疑】
質 本市独自の基準等はあるのか。

答 設備の基準の内、乳児室の面積について国は1.65㎡だが、本市では3.3㎡としている。

質 今後、市立幼稚園で拡充を検討されていると聞いたが、上程されている基準で受入れ可能なのか。

答 人員や設備で課題にはなっている。保育所で0歳児を受入れ、幼稚園では1歳から2歳児を受け入れ、枠を広げる対応をしていきたいと考えている。

※審査の結果、委員会に付託された全ての議案は可決しました。



産業建設常任委員会審査報告

「災害時早期対応のための条例改正」

議第36号 近江八幡市給水条例の一部を改正する条例の制定について
議第37号 近江八幡市下水道条例の一部を改正する条例の制定について

現在、本市で水道工事等を行うには、本市が指定した業者のみが市内で給水装置工事ができるという規定になっているため、他市の給水装置工事業者が応援に来ていただいても、工事ができません。そういったことが、能登半島沖地震で復旧が遅れた原因のひとつになっていました。

災害その他非常の場合においては、本市以外の市町村長が指定した業者が本市の区域内で給水装置工事を施工できるように規程にするため、所要の改正を提案されたものです。

【主な質疑】

質 この改正については、本市の指定業者には通達しているのか。

答 基本的には普段の工事は指定業者にしか業務をし

てもらわないことになっていて、この改正は非常事態の限定された状況におけるものであるため特にお知らせはしていない。

質 能登半島沖地震の時には、不審な業者が入ってきて、適切な施工をされなかった事例があったと聞く。どのようにして市外の業者を選任されるのか。そのあたりの確認はしっかりとしたい。

答 有事の際の特例措置であり、また、入ってくる業者は他の市町村に許可されている指定業者に限るので、全く知らない業者が入ってくることは想定していない。

※審査の結果、委員会で付託されたすべての議案は全会一致で可決しました。



総務常任委員会活動報告

総務常任委員会では、所管事務調査項目を「行政のDX化について」、「公共工事の課題調査について」、「公立病院事業について」、「観光振興の課題調査について」、「地域に根ざしたまちづくり協議会活動について」及び「移住定住促進について」の6件とし、このうち「公立病院事業について」は、令和8年1月15日に総合医療センターとの意見交換や医療現場の視察等を行い、病院経営の実態調査を実施しました。

調査では、「公立病院経営強化プラン」推進の課題等、経営改善に向けた具体的な取組について、説明を受けた後、意見交換を行いました。また、手術室、コマンドセンター等の見学及び手術室において、ダヴィンチ（手術支援ロボット）の操作体験等を行い、総合医療センターの業務の実際について直接学ぶ機会としました。

今後も引き続き、各項目についての調査・研究を深め、その成果を課題解決に向けた具体的な提案等に反映し、市政の発展に活かしていけるよう研鑽に努めてまいります。



【引用】近江八幡市立総合医療センターホームページより <https://www.kenkou1.com/medical-list/davinci/>

市庁舎整備等特別委員会報告

本委員会は、市庁舎整備等に係る案件の調査研究を行いました。

4月18日、新庁舎のオフィス整備に係る什器を製造している事業者の工場を訪問し、製造過程や新しい働き方の様子を見学し、働き方改革に伴う効果について説明を受けました。

5月1日、新庁舎の議会フロア及び議場の什器やレイアウトの提案を事業者から受け、意見交換を行い、それぞれの規格や配色、配置の確認をしました。

7月14日、建設中の新庁舎の現場見学を行い、工事の進捗状況を確認しました。

8月22日、市当局から建設資材等の価格上昇に伴う対応についての説明を受け、第3回（9月）定例会にて市庁舎整備工事請負契約の変更について審査を行いました。

南別館改修事業については、事業概要の確認などを行い、8月29日には南別館改修工事請負契約の締結について審査を行いました。

市民広場整備事業については、本計画策定の進捗状況を確認し、整備手法や管理運営方法及びイメージ、コンセプトなどについて市当局と意見交換をしました。



市当局には、市庁舎整備工事や南別館改修工事において引き続き安全な工事施工に努めるとともに、多様化するニーズや行政需要の変化に柔軟に対応ができ、市民が誰でも利用しやすく、安全で安心を支える庁舎となるよう適切な事業推進に努められるよう要望します。

議会改革特別委員会の取組報告

本委員会は、「議会基本条例の趣旨に基づいた議会運営が行われているのか検討及び議会機能の強化に向けて調査研究を行う」、「議員のコンプライアンス意識の向上とハラスメントの防止などの調査研究を行う」を設置目的とし、今年度6月、議会改革推進委員会を改め、新たに特別委員会として設置されました。

新たに設置された委員会であることから、今年度はまず、今後の議会改革に向けての基盤強化のための1年としました。委員会として主体的に問題設定をして進めていくべきであると考え、委員会としてやるべきことや課題について委員同士で協議をして共有化や統一化をしていくことを目的にグループワークを実施してきました。グループワークでは、議会改革における重要課題として挙げた3つのテーマ「議会の機能強化に向けて」、「市民との関係強化（「開かれた議会」の推進）に向けて」、「議会運営・議員に関する課題解決に向けて」について、各グループで話し合うことで、それぞれの委員から本市議会の課題や議会改革を進めていくうえで優先すべき事項など、さまざまな意見が出され、それらについて協議を重ねてきました。

委員会のグループワークの中で出された意見などを参考に、議会の活性化や議会機能の強化を図り、市民参画の機会や市民の意見を政策に反映していく仕組みなどを一層強化していけるよう引き続き取り組んでいきます。



議会運営委員会・議会改革特別委員会 視察研修報告 (令和8年1月16日(金))

議会改革と議会活性化の取組について学ぶため、西脇市議会へ視察研修を行いました。西脇市議会は、早稲田大学マニフェスト研究所議会改革度調査2024において総合ランキング31位で様々な議会改革を実施されており、その取組事例について学びました。

議会基本条例を毎年検証することにより、挙げられた課題に対し適切な措置を講じる仕組みづくりや、毎定例会ごとに実施される反省会での多岐にわたる気づきの項目から改善を行っておられます。ほかにも一般質問で政策提案された結果や市民からの困りごとまたは提案を委員会で調査・合意形成を図り、政策・条例提案につなげる委員会中心主義等、議会改革や議会の機能強化を進めるための数多くの学ぶべき点がありました。

視察研修で学んだことを活かしつつ、今後の議会運営と議会改革を進めていきます。



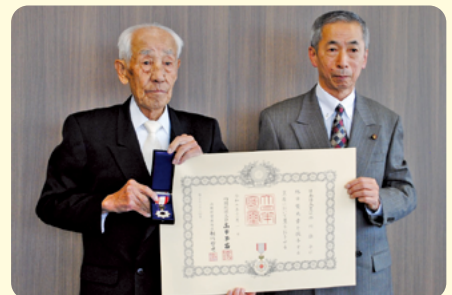
西川與平氏、安井千代枝氏 叙勲伝達式

元近江八幡市議会議員の西川與平氏と安井千代枝氏のお二人が高齢者叙勲を受章され、令和8年2月24日に伝達式を行いました。

西川與平氏は、昭和50年4月30日から通算10期、約33年間の長きにわたり、旧安土町議会議員及び近江八幡市議会議員として市政の発展に尽くされました。特に近江八幡市と安土町の合併直前の平成22年3月に旧安土町議会議長として議会の要職に就任し、その卓越した識見と指導力により旧安土町議会及び近江八幡市議会の円滑かつ公正な運営にご尽力いただきました。

安井千代枝氏は、平成11年4月30日から通算3期、約12年間の長きにわたり、近江八幡市議会議員として市制の発展に寄与されました。特に平成14年4月から1年間の近江八幡市議会建設病院常任委員会副委員長をはじめとする常任委員会副委員長として議会の要職に就かれ、その卓越した識見と優れた調整力により、近江八幡市議会の円滑かつ公正な運営にご尽力いただきました。

西川與平氏はご本人へ旭日双光章を、安井千代枝氏はご家族へ旭日単光章を山本市議会議長よりそれぞれ伝達いたしました。

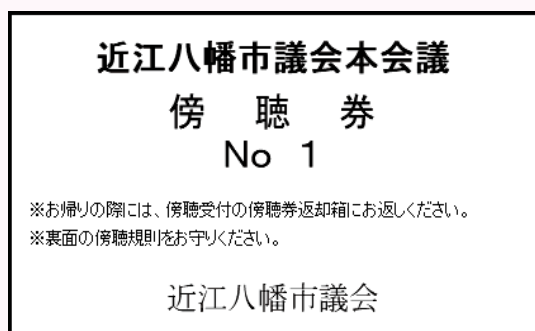


(左:西川與平氏と右:山本英夫議長)

【議会の傍聴について】

市議会定例会、臨時会、各常任委員会は公開されており、どなたでも傍聴していただくことができます。傍聴される場合は、市役所4階議会事務局で傍聴券と当日の資料を受け取ってください。

なお、傍聴券は当日に限り有効です。



【テレビ放送やインターネット (YouTube) での放送について】

市議会本会議の様子は、ZTVのコミュニティチャンネルで生中継と録画放送を放送するとともに、議会が閉会した約2週間後には、同じくコミュニティチャンネルの「市政だより」のコーナーで本会議の様相を紹介しています。

また、インターネットでは、YouTube（ユーチューブ）による本会議の録画配信を行っています。本会議の開催期間中は、ライブ配信も行っています。



編集後記

令和8年第1回（3月）市議会定例会は、新庁舎の完成に伴い、新しい議場で初めて開催される記念すべき議会となりました。新たな環境のもと、議員一同、これまで以上に緊張感と責任感をもった定例会となりました。

本定例会では、新年度予算をはじめ、多くの重要な議案について慎重に審議を行いました。市民の皆さまの暮らしを支え、将来につながる施策が着実に進められるよう、また、新しい議場が開かれた議会の象徴となるように、これからも市民の皆さまに信頼される議会を目指して、今後も引き続き議会運営に努めてまいります。（広報広聴委員長 南 祐輔）

令和8年第1回(3月)近江八幡市議会定例会に提出された議案と議決結果

賛否の分かれた議案

議案番号	件名	付託委員会	会派 議決結果	創政会								政翔会			育政会			①	②	③	④	
				間宮泰樹	藤村健造	三上英夫	道下直樹	南祐輔	大川恒彦	岡田彦士	小西はげむ	久郷定彦	沖茂樹	辻正隆	小川広司	青木勝治	松村英夫	山本理恵	中塚妙子	山本陽子	森原弘子	玉木耕児
◇ 予 算																						
議第12号	令和8年度近江八幡市一般会計予算	予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第13号	令和8年度近江八幡市国民健康保険特別会計予算	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第15号	令和8年度近江八幡市介護保険事業特別会計(保険事業勘定) 予算	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第16号	令和8年度近江八幡市介護保険事業特別会計(サービス事業勘定) 予算	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第18号	令和8年度近江八幡市後期高齢者医療特別会計予算	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◇ 条 例																						
議第23号	近江八幡市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第24号	近江八幡市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第25号	近江八幡市子ども・子育て支援法施行規則の一部を改正する内閣府令附則第2条第1項の経過措置を定める条例の制定について	教育厚生	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第39号	近江八幡市病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例について	総務	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◇ 議員提出議案																						
会第3号	稼働中のすべての原発の即時停止を求めるとともに、新たな原発の建造に反対する意見書の提出について	総務	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
会第4号	憲法改正に反対し、改憲発議を行わないことを求める意見書の提出について	総務	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

①：公明党 ②：日本共産党 ③：チームはちまん ④：凛成会

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 退…退席 除…除斥 一…議長は採決に加わっていません。※可否同数の場合は議長裁決

全員一致で承認・可決・同意・採択した議案

議案番号	件名	付託委員会
◇ 専決処分		
議第1号	専決処分の承認を求めることについて 令和7年度近江八幡市一般会計補正予算(第8号) 令和7年度近江八幡市一般会計補正予算(第9号)	予算
◇ 予 算		
議第2号	令和7年度近江八幡市一般会計補正予算(第10号)	予算
議第3号	令和7年度近江八幡市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	教育厚生
議第4号	令和7年度近江八幡市介護認定審査会共同設置事業特別会計補正予算(第2号)	教育厚生
議第5号	令和7年度近江八幡市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第4号)	教育厚生
議第6号	令和7年度近江八幡市介護保険事業特別会計(サービス事業勘定)補正予算(第2号)	教育厚生
議第7号	令和7年度近江八幡市文化会館事業特別会計補正予算(第3号)	総務
議第8号	令和7年度近江八幡市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	教育厚生
議第9号	令和7年度近江八幡市水道事業会計補正予算(第2号)	産業建設
議第10号	令和7年度近江八幡市下水道事業会計補正予算(第1号)	産業建設
議第11号	令和7年度近江八幡市病院事業会計補正予算(第2号)	総務

全員一致で承認・可決・同意・採択した議案		
議第14号	令和8年度近江八幡市介護認定審査会共同設置事業特別会計予算	教育厚生
議第17号	令和8年度近江八幡市文化会館事業特別会計予算	総務
議第19号	令和8年度近江八幡市大中の湖地区基幹水利施設管理事業特別会計予算	産業建設
議第20号	令和8年度近江八幡市水道事業会計予算	産業建設
議第21号	令和8年度近江八幡市下水道事業会計予算	産業建設
議第22号	令和8年度近江八幡市病院事業会計予算	総務
議第43号	令和7年度近江八幡市一般会計補正予算（第11号）	予算
◇ 条 例		
議第26号	近江八幡市近江八幡駅北口東側自転車駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設
議第27号	近江八幡市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第28号	近江八幡市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第29号	近江八幡市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第30号	近江八幡市職員旅費支給条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第31号	近江八幡市使用料条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第32号	近江八幡市みんなの心で手をつなぐ手話言語条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第33号	近江八幡市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第34号	近江八幡市火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設
議第35号	近江八幡市都市公園のうち有料施設の属する都市公園の管理及び運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第36号	近江八幡市給水条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設
議第37号	近江八幡市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設
議第38号	近江八幡市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設
議第44号	近江八幡市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第45号	近江八幡市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設
◇ そ の 他		
議第40号	令和8年度近江八幡市下水道事業会計減債積立金の目的外使用につき議決を求めることについて	産業建設
議第41号	市道路線の認定につき議決を求めることについて	産業建設
議第42号	市道路線の変更につき議決を求めることについて	産業建設
◇ 人 事		
議第46号 ～ 議第69号	近江八幡市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
議第70号	西宿財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて	省略
議第71号	東財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて	省略
◇ 議員提出議案		
会第1号	障害基礎年金制度の抜本的改善を求める意見書の提出について	教育厚生
会第2号	介護保険制度の抜本的改善及び介護従事者の処遇改善を求める意見書の提出について	教育厚生

付託委員会欄の「予算」は予算常任委員会、「総務」は総務常任委員会、「教育厚生」は教育厚生常任委員会、「産業建設」は産業建設常任委員会です。

5月臨時会のご案内 令和8年第1回（5月）市議会臨時会は、5月20日（水）を予定しています。

6月定例会のご案内 令和8年第2回（6月）市議会定例会は、次のような日程で予定しています。それ以外の日は、休会の予定です。

開会日	質問日	委員会	閉会日
6月22日(月)	7月1日(水)、2日(木)、10日(金)、 13日(月)、14日(火)	7月15日(水)、16日(木)、17日(金)、 21日(火)、22日(水)	7月24日(金)

皆さまからの議会運営に関するご意見を、メールまたは文書にて、議会事務局までお寄せください。

〒523-8501 近江八幡市桜宮町236番地 Eメール：020200@city.omihachiman.lg.jp FAX：0748-36-7101



●インキ：環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
●印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷